



## ”清流を守る子供たち”   NHKの取材を受けました

土曜日の早朝、落合川では子供たちによる川ソージの風景が見られます。近所の荒井さんを慕って集まってくるのです。



今日（7月6日）は、この風景をNHKがテレビ取材するというので、普段はちょっと休みがちの子供も集まって、大張りきりです。

(写真は、クリックすると拡大になります)



みんな「あらジイ」が大～好き、小さかった彼らも小学生高学年、中学生にもなっています。「あらジイ」は、環境の大切さ、川でのルールそして魚などいろいろな話をしてくれます。



川ソージは、親に言われて？学校の先生に・・・？

皆んなの答えは「ノー！」  
楽しいから、気持ちいいから、褒められたり声をかけられるととてもうれしい！



「川ソージは、特に義務感からではなく、自然なうちに始まり定着してきました」

今では、ソージは、毎週のことなので目立つゴミは少ないのですが、多くの子供たちの水遊び場所なので、河底のガラスなどのソージは欠かせないとのこと。

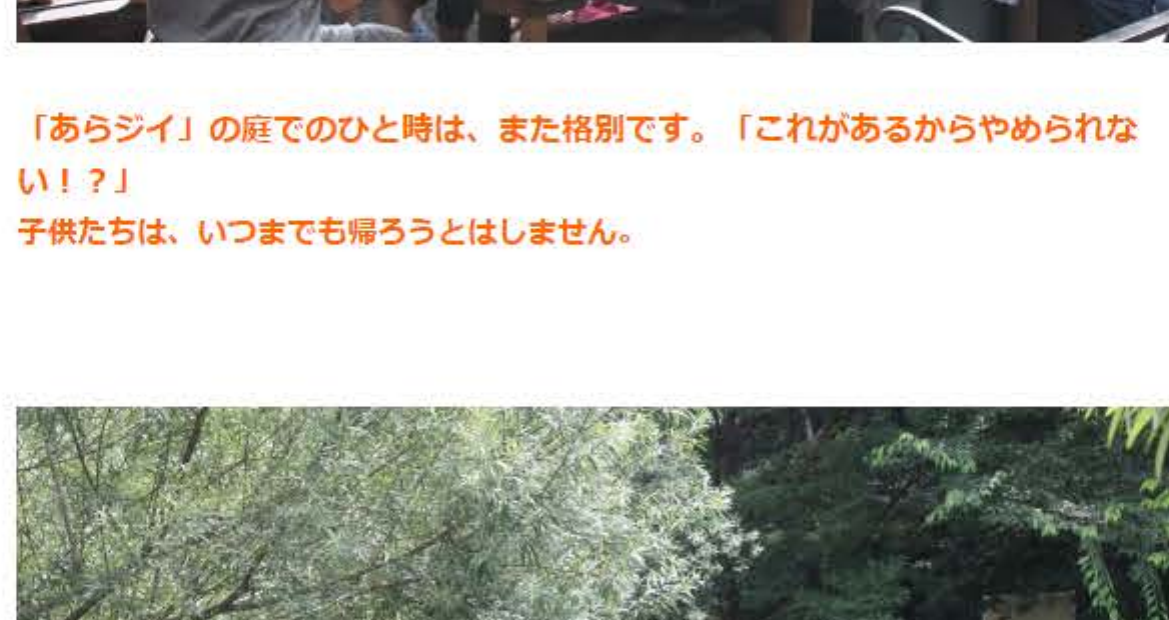
「子供たちの姿を見て、ゴミをポイ捨てする人がいなくなったのでしょう」

「自分たちに代わって、この子供たちが主役になってくれると信じます」

そして、過去いろいろな先輩たちの活動と努力が今に繋がっている・・・と荒井さん。



「あらジイ」の庭でのひと時は、また格別です。「これがあるからやめられない!？」  
子供たちは、いつまでも帰ろうとはしません。



このような清流がこんなに近くにある、東久留米。

君たち自身が、一番幸せモノかもしれませんよ。

市民記者：球歩      (写真は、関係者の了解のもと掲載しています)

P.S：NHK総合テレビ、7月12日07：35よりのニュース枠で放映予定です。是非こちらもよろしくお願ひします。